

刊行に
あたって

歯周病は、一説には“日本人の8割が罹患している”ともいわれるほど、多くの患者さんが存在しています。歯の喪失原因の第1位が歯周病であることは、多くの歯科医師の知るところであり、歯周病を治すことが“国民の歯を守る第一歩”となることは間違いありません。

かつて歯周病は「不治の病」とさえいわれていましたが、近年、歯周病治療は急速に進歩を遂げ、歯周病の8割は歯周基本治療で治るとさえいわれています。しかし、基礎を見落としたまま歯周病治療が行われてしまい、なかなか改善がみられないケースも残念ながら散見されます。さらに、歯周病治療を歯科衛生士に任せっきりにして、歯科医師がほとんど治療にかかわらない場合も多いようです。

歯周病を治すキモは歯科医師にあります！

歯科医師のアプローチによって、患者さんが治療に協力的になるように導き、またスタッフ教育を行い、歯周病治療をマネジメントできる医院を作り出すことが大切です。

そこで、本増刊号では、序章「歯周病原性細菌と免疫」、第1章「歯周基本治療」、第2章「歯周外科処置」、第3章「歯周病と全身疾患」、第4章「咬合治療」、第5章「SPT・メンテナンス」に章立てし、多くの歯周病治療のエキスパートにご執筆をいただきました。歯周病を治し、歯を残すためには何が必要なのか、歯科医師がおさえておくべきポイントを、わかりやすく詳細に解説しています。

歯周病治療の基礎を読者である開業医の先生方に再認識していただき、正しい知識を身につけるガイドとして、本書をご活用いただければ幸いです。

2015年3月
編集委員一同